

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市東四郎丸児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家
3	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》13,353人(前年度比86.9%) 平成30年度 15,376人 平成29年度 16,891人 平成28年度 15,651人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 25,467千円 (24,169千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
		()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、にこにこ児童館応援隊、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV	サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	児童クラブにおいては、「チャレンジ広場」や「スタディ広場」、「スポーツ広場」など、子どもたちが様々な経験を積むことができるよう幅広い取り組みが行われている。月に一度、放課後子ども教室との連携行事を実施し、交流や活動の場を広げている。また、「チームかっこ」として子どもボランティアを募り、児童自身が行事を企画運営するなど自主的な活動を支援している。また、今年度は震災復興支援のお礼として紙芝居作りに取り組み披露するなど、子どもたちが自信を持てるような活動を支援している。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人FOR YOUにこここの家）による自己評価》
<p>児童館運営の4柱を念頭に、学校・家庭・地域のつながりある子ども・子育て応援社会の実現を目指す運営を実施した。今年度は特に「子育ての原点である家庭教育支援と切れ目のない子育て支援」に力を入れた。子育て支援室が、乳幼児親子にとって孤立しない、安心して子育てできる居場所の一つになるよう「ma*ん*maルーム」の広報に努めた。家庭教育支援と切れ目のない子育て支援のために、幼稚園の園長や栄養士のお話し会、東北福祉大学のママクラスワーク、防災・減災ワークショップなど学びの場も設けた。児童館が安心して遊べるみんなの居場所として、認識してもらえるようになったことは大きな成果である。</p> <p>また児童クラブ事業では、家庭福祉の視点から、子どもたちの自己肯定感の向上と親子をつなぐ家庭教育のあり方を児童館運営に反映する試みを継続して行った。児童クラブの子どもの可能性を引き出す取り組みとして、子どもボランティア「チームかっこ」、地域の高齢者施設との交流「ここにひろば」、校長先生や地域の方たちと行うクリスマス会等の場で、活動報告や音楽隊の発表などを行った。また保護者会では30mのロング海苔巻き作り親子でチャレンジするなど児童クラブの親子同士の交流も図ることができた。</p> <p>更に児童健全育成及び地域交流推進事業においても、学校訪問やまち探検など児童クラブと東四かにかっこ放課後子ども教室との連携事業のほか学コミにかっこ和太鼓隊の活動、かっこことうちゃんs'の子どもボランティア参加などを通して地域の子どもたち同士のつながりを強め、学校や町内会などが応援する「地域のコラボ事業」となり、未来を担う子どもたちの社会参加を応援する環境を整えることができた。児童館のコンセプトでもある「手をつなぐ児童館」「子どもの未来を応援する児童館」として、今後も「伝え合う・認め合う・支え合う」を念頭に児童館運営に邁進します。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>地域を元気にすることを目的にスタートした復興プロジェクト「かっこ和太鼓隊」の活動では、共に活動する地域の小中学校との交流を図りながら、地域の様々な場で太鼓を披露している。この活動は、これまで以上に地域の方々に児童館の取り組みを知っていただき、子ども達の自己肯定感を高める機会にもなっている。また、放課後子ども教室のスタッフや小学校の職員と日常的に情報を共有し、連携して子どもを支援する体制づくりに積極的に取り組んでいる。</p> <p>児童健全育成事業においては、子どもの興味や関心を広げ、社会性を高めるための取り組みとして、高齢者施設の利用者や震災復興支援企業との交流等、子どもたちに多様な出会いの場を提供した点が評価できる。近隣児童館や児童発達支援センター等と連携し、親子遊びや絵本の読み聞かせ、感覚遊びなど様々な遊びが経験できる「親子の広場in東中田」を実施するなど、子どもの発達に不安を抱えている保護者への支援にも力を入れている。</p> <p>乳幼児向け事業では、地域の中で安心して子育てできるように健康教室や育児相談等を開催しているほか、子育て支援室「ma・ん・maルーム」には子育て中の親子が気軽に集い、相互交流を図っている。子育て支援室の利用を通じて交友関係を広げ、継続利用につながるなど利用者が増えており、児童館が親子共に安心して過ごせる居場所として地域に定着している。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課